

社会貢献活動

ミネベアグループは、「5つの心得」の中で掲げられている「地域社会に歓迎されなければならない」「国際社会の発展に貢献しなければならない」という考えに基づき、地域の教育活動への支援、地域社会への貢献、政府活動への協力、アマチュアスポーツ振興の支援などの社会貢献活動を行っています。

2008年の主な社会貢献活動

タイの子供たちへの教育支援プログラム

～タイ「高橋財団」の活動～

「高橋財団」は、1992年にタイミネベアグループ設立10周年を記念した寄付によって設立されたものです。タイミネベアが設立25周年を迎えた2007年には、基金総額は8,000万バーツとなりました。「高橋財団」は、科学技術を学ぶ経済的に恵まれていない学生に奨学金を授与しており、奨学生数は設立以来500名を超えています。また、貧困家庭の子供たちのための学校給食支援プロジェクト、環境教育プロジェクトなどを推進しています。



環境教育プロジェクト
「環境・エネルギー保護」を
題材した絵画及び環境掲
示板のコンテストの様子
(アユタヤー県バーンスーン
校)



地域社会への貢献

～工場周辺の清掃活動、植林活動～



工場周辺の清掃活動
(軽井沢工場・藤沢工場)



仙台市みんなの森づくり事業への参
加(エヌ・エム・ビー電子精工)

～車椅子用体重計の寄贈～

神奈川県藤沢市、長野県軽井沢市の福祉施設にミネベアが設計・製造した「車椅子用体重計」(車椅子に乗ったまま体重が計れる体重計)を寄贈しました。



藤沢市長(右)への目録贈呈



車椅子用体重計

アマチュアスポーツ振興

～「カーリングホールみよた」の運営支援～

ミネベアは、長野県御代田町の総合地域スポーツクラブ「カーリングホールみよた」の運営を支援しています。男子のSC軽井沢や女子のチーム長野など、長野県内で活動するカーリング選手たちが着用するベンチコートは2007年にミネベアが寄贈したもので、背中にヤマユリと浅間山をデザインした御代田町のシンボルマークがプリントされています。



軽井沢国際カーリング選手権
(2009年)の様子